

履 歴 書

（西暦）2000年00月00日現在

（ふりがな） つくば はなこ  
氏 名： 筑 波 花 子 （署名又は印） 性別： 女  
生 年 月 日： 1900年00月00日生（00歳）

現 住 所： 茨城県つくば市001-2-3

学歴（大学以上）：

1900年4月 00大学00学部00学科 入学  
1900年3月 同 上 卒業  
1900年4月 00大学00学部研究生 入学  
1900年3月 同 上 終了  
1900年4月 00大学大学院00研究科修士課程00専攻 入学  
1900年3月 同 上 修了  
1900年4月 00大学大学院00研究科博士課程00専攻 入学  
1900年3月 同 上 単位取得退学

1900年0月 中学校教諭一種免許状（00）（00県 00第00号）

1900年0月 0000士（第00号）

学 位：2000年0月 博士（00学）（00大学）  
Ph. D.（00）（00国00大学）

職 歴：

1900年0月～1900年0月 00大学00学部 非常勤講師  
※ 学歴・職歴を通じて空白となる期間がある場合には、非常勤の職歴を記載する。  
1900年0月～2000年0月 （財）00研究所00研究部 00研究員  
2000年0月～2000年0月 00大学00学部 助教  
2000年0月～現在 国立大学法人00大学00学部 准教授

※ 本学在職の場合(例)

- 法人化前は「筑波大学助教授00学系」、法人化後(2004年4月からは「国立大学法人筑波大学大学院00研究科助教授」と記載する。
- 2007年4月からは職名が変更したため「助教授」は「准教授」と記載する。
- 2011年10月からは「研究科」から「系」に所属変更となったため、分けて記載する。

学会活動等：

1900年0月～現在 日本00学会会員  
2000年0月～2000年0月 00学会評議員  
2000年0月 00学会00賞受賞

上記のとおり相違ありません。

〇 〇 〇 〇

（自 筆 署 名）

## 研究業績目録

氏名（自筆署名） ○ ○ ○ ○

（西暦）2000年○月○日現在

- ※ 最近5年間に刊行されたものの中から重要と思われる業績を5件以内で記載すること。ただし、最近5年間以前の研究業績であっても、候補者の業績の中で特に重要な位置付けができるものは、1件に限り含めることが出来る。なお、最近5年間とは、履歴書の日付から遡り5年までとし、年単位としても差し支えない。
- ※ 最近5年間の業績が5件未満の場合は、最近5年以前のものを含めて5件記載する。また、すべての研究業績を合わせても5件未満の場合は、すべての研究業績を記載する。
- ※ 過去の本学での人事において、査読による審査の対象となった研究業績は、再び査読による審査の対象とすることができない。
- ※ 本学の複数の教員が共著により刊行した研究業績について、共著者のうちの1人が研究業績目録に記載し審査の対象とした場合は、同一分野の人事において、他の共著者が研究業績目録に記載することを避けることが望ましい。
- ※ 項目ごとに最近のものから順に記載すること。ただし、印刷中のものは末尾に記載し、出版社・編集委員等が発行する証明書類等を添付すること。

### 著書（記載順：著者リスト、著書名、発行所、頁、発表年）

- 1 筑波花子：『○○○の研究』、○○出版、○○頁、2014年。単著。
- 2 筑波花子、茨城太郎：『○○に関する研究』、○○出版、改定第○版、○○頁、2013年。共著。  
※ 共著とは文字通り、共同執筆の場合をさす。
- 3 筑波花子：「第○章 ○○○」（○○編『○○○の研究』、○○出版）。分担著。【印刷中】。

### 査読付学術雑誌論文（記載順：著者リスト、論文名、雑誌名、巻、頁、発表年）

- 1 筑波花子：「○○に関する考察」（『○○○学会雑誌』第○巻第○号）、○○～○○頁、2014年。
- 2 Tsukuba Hanako, Taro Ibaraki, “Japan and China, 1900-1910,” *Journal of Asian Studies*, Vol. 2, No. 4, pp. 30-41, April 2013.

### 査読無学術雑誌論文（記載順：著者リスト、論文名、雑誌名、巻、頁、発表年）

- 1 茨城太郎、筑波花子：「○○について」（○○大学教育学部『○○紀要』第○○集）、○○～○○頁、2013年。 ※ 発行元については、強調したい場合に記載する。

### 査読付国際会議論文

- 1 Tsukuba Hanako, “On the Disclosure of Diplomatic Records,” *Proceeding of 17<sup>th</sup> International Congress of East Asian History*, Macao, April 2012, 14 pages 【PDF版】。

その他 著書○件 査読付学術雑誌論文○件 査読無学術雑誌論文○件  
査読付国際会議論文○件 ほか（○○等）○件

※ 研究業績とみなされないものについては含めないこと。

教育・実技・実務等業績目録

氏名 (自筆署名) \_\_\_\_\_ (西暦) 2000年00月00日現在

※ 最近3年間の実績のうち主要なものを記載する(継続した任期のものは、任期の最後が最近3年間であれば記載できる)

※ 項目ごとに最近のものから順に記載すること

( 実 績 )

( 期 間 等 )

著作 (学術雑誌論文・著書以外)

※「研究業績目録」の記載例に従い、記載すること

1 ○○○○ . . . . .

2 ○○○○ . . . . .

教育実践実績

[授業担当等] ※在職機関における教育関係の活動(非常勤講師等)を記載

○○大学○○学部○○学科(学群、学類)において

○○学概論 2単位 2000年4月～現在

○○指導法 ティーチングアシスタント 1900年4月～2000年3月

[委員会委員等]

○○大学○○委員会委員 2000年4月～現在

○○大学○○室室員 2000年4月～2000年3月

[その他] ※在職機関以外における教育関係の活動(非常勤講師等)を記載

○○大学○○学部非常勤講師 2000年4月～現在

(「○○学概論」○単位)

社会的実績

○○県教育委員会○○専門委員会委員 2000年4月～現在

○○県地方○○審議会委員 2000年4月～2000年3月

## 教育・研究の計画及び抱負

氏名 （自筆署名）

（西暦）2000年00月00日現在

1. 教育について

2. 研究について

3. 00センターにおける業務について **（センター勤務等がある場合のみ）**

## 全 研 究 業 績 目 録

氏 名     ○ ○ ○ ○     (記名可)

(西暦) 2000年○月○日現在

- ※ 項目毎に、印刷中のものも含めて最近のものから順に番号を付す。
- ※ 「研究業績目録」に記載した業績については、当該業績の先頭に○をつけること。
- ※ 「研究業績目録」の記載例に従い記載すること。
- ※ 人間系教員選考審査基準で定める研究業績に該当しない項目を記載する必要はない。
- ※ 全研究業績目録の作成にあたっては本記入例に従うことが望ましいが、研究業績に含まれる項目及び各業績の著者、頁数(○○頁、○○～○○頁)、発行所、発表誌、発表年(月)等が判別できれば、必ずしも本記入例に厳密に従わず、任意の様式を使用しても良い。

## 1. 博士論文

『○○に関する研究』(○○大学○○研究科)、2000年、○○頁

## 2. 著書

- 1 ○○○○・・・【印刷中】
- 2 ○○○○・・・

## 3. 査読付学術雑誌論文

〔全国誌・国際誌〕

- 1 ○○○○・・・
- 2 ○○○○・・・

〔紀 要〕

- 1 ○○○○・・・
- 2 ○○○○・・・

## 4. 査読無学術雑誌論文

〔全国誌・国際誌〕

- 1 ○○○○・・・
- 2 ○○○○・・・

〔紀 要〕

- 1 ○○○○・・・
- 2 ○○○○・・・

## 5. 査読付国際会議論文

- 1 ○○○○・・・
- 2 ○○○○・・・

6. 査読無国際会議論文

1 ○○○○・・・・・・・・

2 ○○○○・・・・・・・・

7. 外部資金獲得状況

**※ 代表で獲得した外部資金を記載すること。**

代表

- 1) 平成23年度～平成25年度 科学研究費補助金 (基盤研究 C)  
「○○に関する研究」  
299 万円 (うち直接経費 230 万円)

**※ 分担等で獲得した外部資金の記載は原則として不要である。それでもなお記載する場合は、次の例に従うこと。**

分担

- 1) 平成22年度～平成24年度 科学研究費補助金 (基盤研究 B)  
「○○について」  
分担、195 万円 (うち直接経費 150 万円)  
代表：○○○○ 総額 1400 万円

8. 参考

**※ 人間系教員選考審査基準で定める研究業績には含まれないが、審査の上で特に参考となるもの。**

(以下の項目は例示)

[招待講演等]

- 1) 「○○について」(○○学会第3回年次大会基調講演)、2014年3月、○○大学
- 2) 「○○の研究」(○○学会第24回総会招待講演)、2013年8月、○○研究所